

大学院進学という道も！

## 大沼 大晟

日本史学専攻4年  
國學院高等学校(東京都)出身  
進学先: 中央大学大学院文学研究科日本史学専攻

幕末維新期の実態を捉え

よりよい未来につなげる

研究者をめざします

### 古文書を紐解き新たな史実に行き着く醍醐味を実感

ゼミでは幕末維新期を研究し、指導教授に同行して古文書整理に向けた調査を実施。武家の子孫を訪ねて史料を見つけ、1点ずつ目録を作成する作業などを経験しました。それまで博物館などでガラス越しに見ていた古文書を、実際に手にしたときは感動しました。調査後に考察を深めることで史実の新発見につながる喜びに魅了され、さらに研究を進めたいと思ったことが、大学院進学を決めた理由です。

### 研究成果を現代社会に還元していきたい

今後の目標は、幕末維新期の研究者となり、現代社会や未来をよりよくするための一翼を担うこと。幕末以降に加速した近代化は、現代社会の礎となった一方で、日本を数々の戦争に向かわせ、第二次世界大戦での敗戦につながった原因ともいえます。現代の私たちは過去の失敗に学び、反省すべき点もあるはず。よい部分は取り入れつつ、失敗を繰り返さないために、隠れた史実を解明する研究者をめざします。

POINT

受け身ではない  
勉強方法に楽しさがある

ゼミでの研究は「誰かから教えられて学ぶ」のではなく、興味があるテーマを主体的に調査し考察する意識が肝心。そして、発見したことや考えたことをプレゼンテーションしたり、学術的な論文として書き上げたりする点にやりがいがあります。

